

参院選勝利へ草の根から

近畿いっせいで
改憲とのたたかい呼びかけ

来年の参院選勝利へむけ近畿2府4県の日本共産党と後援会は12日、いっせいで宣伝に取り組み、313カ所で13.5%の支部、1,365人、210議員が参加し、1万3,734枚のピラを配布。衆院選での支援に感謝を述べるとともに、野党共闘の発展・強化、新自由主義を終わらせる命・暮らし最優先の政治など自公政治からの「4つのチェンジ」、9条改憲への新たな危険に立ち向かう草の根からのたたかいを呼びかけました。

清水さんの訴えに「残念やった」「頑張って」と激励

大阪市北区では、総選挙で衆院近畿比例・大阪4区候補として奮闘した清水忠史前衆院議員が、党長柄地域支部とともにサボイ天六味道館前で宣伝しました。「清水さんに入れたで」「残念やったなあ。頑張ってや」「ちゃんと比例も書いたんよ」などの激励が寄せられました。支部の人も、「ピ



ラが足らなくなる」、「本番より反応がええなあ」、「喜んでいいのかしら」など感想を述べていました。「近畿民報」とできあがったばかりの「4区民報」(カラー)を配布。清水氏は、総選挙での支援への感謝と野党共闘が効果を発揮した結果を紹介し、掲げた公約に実現に力をつくすと表明。総選挙後、自民、公明、議席を伸ばした維新の改憲への動きが活発化していることにふれ、「ねらいは9条です。憲法改悪ストップへ、参院選で、たつみコートロー前参院議員を先頭に奮闘します」と述べ、引き続き支援を訴えました。

たつみ前参院議員 議席奪還へ決意 たつみコートロー前参院議員(大阪選挙区)は大阪市の寺田町駅前「来年の参院選へ市民と野党の共闘をさらに発展させよう」と訴えました。「共産党を応援している」「維新の暴走を止めて」などの激励がありました。

野党共闘の発展を

◇衆院奈良2区候補として奮闘した宮本次郎前県議は、斑鳩町のJR法隆寺駅で宣伝。「小選挙区選挙開始から25年、さきの総選挙で初めて本格的な野党共闘が始まりました。引き続き共闘の力で地域の願いを政治に届けます」と訴えました。「これからも応援します」と激励がありました。

◇京都・中京地区 総選挙後半よりピラの受け取りが良かった。JR円町駅、二条駅ではこれまで受け取らなかった若い人たちがピラを受け取ってくれました。

◇党兵庫県委員会、東灘・灘・中央地区 神戸市の元町駅前総選挙結果を報告し、党に寄せられた支援に感謝を述べ、公約実現の決意を表明しました。近畿民報と気候危機パンフをセットにして配布。若い人が何人か、気候パンフを受け取りに来てくださいました。

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 48(2021.11.15)